

異常ありません。

嬉野台生涯教育センター 様

6 月度汚水処理施設管理結果集計表

現場名 嬉野台生涯教育センター

令和 5 年 6 月 30 日

## 計 量 証 明 書

2023年6月20日



貴依頼による計量結果を次の通り証明します。

採取日 2023年6月9日 採取時刻 9時00分 採取区分 貴採取  
施設名 嬉野台生涯教育センター 容 量 190m<sup>3</sup>/日 人 槽 1400人  
試料名 浄化槽 放流水 所在地 加東市下久米1227-18

計量の対象	計量の結果	計量の方法
*透視度 (度)	30 以上	JIS K0102-9
*臭気	微下水臭	JIS K0102-10.1
*外観(色相)	微黄色	JIS K0102-8
水素イオン濃度(pH)	7.1 (24°C)	JIS K0102-12.1
浮遊物質(SS) (mg/L)	1	昭和46年12月28日 環境庁告示第59号 付表9
化学的酸素要求量(COD) (mg/L)	7.0	JIS K0102-17
生物化学的酸素要求量(BOD) (mg/L)	0.9	JIS K0102-21, 32.3
塩化物イオン(Cl <sup>-</sup> ) (mg/L)	47	JIS K0102-35.2
*大腸菌群数 (個/mL)	30 未満(定量限界)	JIS K0102-72.3
	以下余白	

備考:

(\*印の項目は、計量法第107条の対象外です。)









# 浄化槽清掃記録票

お客様コード			清掃実施年月日	5年 6月 26日	
建築物	名称	嬉野台生涯教育センター様		浄化槽管理者	
	住所又は所在地	加東市下久米1227-18			電話
浄化槽	大きさ	1400人槽	190 m <sup>3</sup> /日	処理方式	合併:分流方式長時間曝気式生物接触酸化方槽
浄化槽保守点検業者		氏名		電話	
				清掃担当者	

作業内容	単位装置等		清掃の有無		併合	単位装置等		清掃の有無	
	共通	単独	併合	単槽		併合	単槽	併合	単槽
作業内容	流入管渠		済	未了	併合	スクリーン設備		済	未了
	インバートます		済	未了		沈殿分離槽		済	未了
	移流管・移流口		済	未了		流入ポンプ槽		済	未了
	流出口		済	未了		流量調整槽		済	未了
	放流管渠		済	未了		計量分水装置		済	未了
	沈殿分離室		済	未了		沈殿槽		済	未了
	曝気室		済	未了		越流せき		済	未了
	散気装置・曝気攪拌装置		済	未了		消毒槽		済	未了
	沈殿室		済	未了		排水ポンプ槽		済	未了
	越流せき		済	未了		汚泥濃縮貯留槽		済	未了
	消毒室		済	未了		汚泥貯留槽		済	未了
	接触曝気室		済	未了		汚泥濃縮槽		済	未了
	汙床(逆洗)		済	未了		中継ポンプ槽		済	未了

搬出浄化槽汚泥の処分先	北播衛生事務組合	浄化槽汚泥引き抜き量	10.5 m <sup>3</sup>	
特記	所見	_____		
	連絡事項	_____		
浄化槽	名称		代表者氏名	
清掃業者	所在地		許可年月日 許可番号	

嬉野台生涯教育センター

浄化槽保守点検記録帳簿					
仕様	1,400人 190.0m <sup>3</sup> /日 10mg/ℓ		実施年月日	令和 5 年 6 月 2 日	
巡回用件	定期・要請・緊急		保守点検業者	[Redacted]	
天候:	雨	気温:	23 °C	作業時間	14:15 ~ 15:00
管理士氏名:	[Redacted]		作業者名	[Redacted]	
浄化槽管理士番号	[Redacted]		検印	[Redacted]	
技術管理者名	[Redacted]		放流水流量積算値	4912.4 m <sup>3</sup>	
	実施事項	実施結果		実施事項	実施結果
スクリーン	水温	22 °C	第二沈殿槽	汚泥沈殿状況	良・否
	流入水 pH	7.1		スカム発生状況	有・無
	荒目スクリーン	良・否		エアリフトポンプの状況	良・否
	流入水路の上昇	良・否		越流ぜきの状況	良・否
流量調整槽	ポンプの作動状況	良・否	消毒汚泥管理	固形錠剤補給量	1.0 kg
	液面スイッチ点検	良・否		余剰汚泥引抜量	0 m <sup>3</sup>
	攪拌状況	良・否		汚泥処分量	0 m <sup>3</sup>
	浮遊物	有・無	機械室	調整ポンプNo.1	5.4 A
計量槽	計量ぜきの状況	良・否		調整ポンプNo.2	5.3 A
	返送ぜきの状況	良・否		調整ブロー	5.3 A
	移送量	6.5 m <sup>3</sup> /時		曝気ブローNo.1	17.0 A
曝気槽	水温	20 °C	放流水	曝気ブローNo.2	17.0 A
	pH	7.5		消泡ポンプ	故障
	DO	2.4 mg/ℓ	水温	20 °C	
	SV <sub>30</sub>	- %	色相	微黄色	
	MLSS	1000 mg/ℓ	臭気	有・無	
	臭気・泡の発生	有・無	pH	7.1	
	曝気の状況	良・否	透視度	50cm以上	
	消泡ノズルの状況	良・否	残留塩素	0. / mg/ℓ	
第一沈殿槽	汚泥沈殿状況	良・否	【特記事項】(異常部分の措置及び連絡事項)		
	スカム発生状況	有・無	処理状況異常有りせん		
	スカム除去装置の状況	良・否			
	エアリフトポンプの状況	良・否			
	返送汚泥量	4.5 m <sup>3</sup> /時			
	返送汚泥濃度	4000 mg/ℓ			
接触酸化槽	水温	20 °C			
	pH	7.2			
	DO	2.5 mg/ℓ			
	曝気の状況	良・否			

嬉野台生涯教育センター

浄化槽保守点検記録帳簿					
仕様	1,400人 190.0m <sup>3</sup> /日 10mg/l		実施年月日	令和 5年 6月 6日	
巡回用件	定期・要請・緊急		保守点検業者	[Redacted]	
天候	雨	気温	19 °C	作業時間	14:15 ~ 15:00
管理士氏名	[Redacted]		作業者名	[Redacted]	
浄化槽管理士番号	[Redacted]		検印	[Redacted]	
技術管理者名	[Redacted]		放流水流量積算値	4989.9 m <sup>3</sup>	
	実施事項	実施結果		実施事項	実施結果
スクリーン	水温	19 °C	第二沈殿槽	汚泥沈殿状況	良・否
	流入水 pH	7.8		スカム発生状況	有・無
	荒目スクリーン	良・否		エアリフトポンプの状況	良・否
	流入水路の上昇	良・否		越流ぜきの状況	良・否
流量調整槽	ポンプの作動状況	良・否	消毒	固形錠剤補給量	1.0 kg
	液面スイッチ点検	良・否	汚泥管理	余剰汚泥引抜量	0 m <sup>3</sup>
	攪拌状況	良・否		汚泥処分量	0 m <sup>3</sup>
	浮遊物	有・無	機械室	調整ポンプNo.1	5.5 A
計量槽	計量ぜきの状況	良・否		調整ポンプNo.2	5.3 A
	返送ぜきの状況	良・否		調整ブロー	5.2 A
	移送量	6.5 m <sup>3</sup> /時		曝気ブローNo.1	17.0 A
曝気槽	水温	20 °C		曝気ブローNo.2	17.0 A
	pH	7.3	放流水	消泡ポンプ	故障
	DO	2.7 mg/l		水温	20 °C
	SV <sub>30</sub>	- %		色相	微黄色
	MLSS	1000 mg/l		臭気	有・無
	臭気・泡の発生	有・無		pH	7.0
	曝気の状態	良・否		透視度	50cm以上
	消泡ノズルの状況	良・無		残留塩素	0.1 mg/l
第一沈殿槽	汚泥沈殿状況	良・否		【特記事項】(異常部分の措置及び連絡事項)  処理状況異常有りません	
	スカム発生状況	有・無			
	スカム除去装置の状況	良・否			
	エアリフトポンプの状況	良・否			
	返送汚泥量	4.5 m <sup>3</sup> /時			
	返送汚泥濃度	4000 mg/l			
接触酸化槽	水温	19 °C			
	pH	7.1			
	DO	2.5 mg/l			
	曝気の状態	良・否			

嬉野台生涯教育センター

浄化槽保守点検記録帳簿					
仕様	1,400人 190.0m <sup>3</sup> /日 10mg/l		実施年月日	令和 5年 6月 9日	
巡回用件	定期・要請・緊急		保守点検業者	[REDACTED]	
天候: 晴	気温:	25 °C	作業時間	12:10 ~ 13:00	
管理士氏名:	[REDACTED]		作業者名	[REDACTED]	
浄化槽管理士番号	[REDACTED]		検印	[REDACTED]	
技術管理者名	[REDACTED]		放流水流量積算値	5049.1 m <sup>3</sup>	
	実施事項	実施結果		実施事項	実施結果
スクリーン	水温	20 °C	第二沈殿槽	汚泥沈殿状況	良・否
	流入水 pH	7.7		スカム発生状況	有・無
	荒目スクリーン	良・否		エアリフトポンプの状況	良・否
	流入水路の上昇	良・否		越流ぜきの状況	良・否
流量調整槽	ポンプの作動状況	良・否	汚泥管理	固形錠剤補給量	1.0 kg
	液面スイッチ点検	良・否		余剰汚泥引抜量	0 m <sup>3</sup>
	攪拌状況	良・否		汚泥処分量	0 m <sup>3</sup>
	浮遊物	有・無	機械室	調整ポンプNo.1	5.4 A
計量槽	計量ぜきの状況	良・否		調整ポンプNo.2	5.3 A
	返送ぜきの状況	良・否		調整ブロワー	5.3 A
	移送量	6.5 m <sup>3</sup> /時		曝気ブロワーNo.1	17.0 A
曝気槽	水温	20 °C	放流水	曝気ブロワーNo.2	17.0 A
	pH	7.4		消泡ポンプ	故障
	DO	2.0 mg/l	水温	21 °C	
	SV <sub>30</sub>	- %	色相	微黄色	
	MLSS	1000 mg/l	臭気	有・無	
	臭気・泡の発生	有・無	pH	7.2	
	曝気の状態	良・否	透視度	50cm以上	
	消泡ノズルの状況	良・無	残留塩素	0.1 mg/l	
第一沈殿槽	汚泥沈殿状況	良・否	【特記事項】(異常部分の措置及び連絡事項)  処理状況異常有りせん		
	スカム発生状況	有・無			
	スカム除去装置の状況	良・否			
	エアリフトポンプの状況	良・否			
	返送汚泥量	4.5 m <sup>3</sup> /時			
	返送汚泥濃度	4000 mg/l			
接触酸化槽	水温	20 °C			
	pH	7.2			
	DO	2.0 mg/l			
	曝気の状態	良・否			

嬉野台生涯教育センター

浄化槽保守点検記録帳簿						
仕様	1,400人 190.0m <sup>3</sup> /日 10mg/l		実施年月日	令和 5 年 6 月 13 日		
巡回用件	定期・要請・緊急		保守点検業者	[Redacted]		
天候:	晴	気温:	26 °C	作業時間	14:10 ~ 15:00	
管理士氏名:	[Redacted]		作業者名	[Redacted]		
浄化槽管理士番号	[Redacted]		検印	[Redacted]		
技術管理者名	[Redacted]		放流水流量積算値	5104.9 m <sup>3</sup>		
	実施事項	実施結果		実施事項	実施結果	
スクリーン	水温	2 / °C	第二沈殿槽	汚泥沈殿状況	良・否	
	流入水 pH	8.0		スカム発生状況	有・無	
	荒目スクリーン	良・否		エアリフトポンプの状況	良・否	
	流入水路の上昇	良・否		越流ぜきの状況	良・否	
流量調整槽	ポンプの作動状況	良・否	消濁汚泥管理	固形錠剤補給量	1.0 kg	
	液面スイッチ点検	良・否		余剰汚泥引抜量	0 m <sup>3</sup>	
	攪拌状況	良・否		汚泥処分量	0 m <sup>3</sup>	
	浮遊物	有・無	機械室	調整ポンプNo.1	5.4 A	
計量槽	計量ぜきの状況	良・否		調整ポンプNo.2	5.3 A	
	返送ぜきの状況	良・否		調整ブロー	5.3 A	
	移送量	6.5 m <sup>3</sup> /時		曝気ブローNo.1	17.0 A	
曝気槽	水温	2 / °C	曝気ブローNo.2	17.0 A		
	pH	7.4	消泡ポンプ	故障		
	DO	1.6 mg/l	放流水	水温	22 °C	
	SV <sub>30</sub>	- %		色相	微黄色	
	MLSS	1000 mg/l		臭気	有・無	
	臭気・泡の発生	有・無		pH	7.1	
	曝気の状態	良・否		透視度	50cm以上	
	消泡ノズルの状況	良・否		残留塩素	0. / mg/l	
第一沈殿槽	汚泥沈殿状況	良・否		【特記事項】(異常部分の措置及び連絡事項)		
	スカム発生状況	有・無				
	スカム除去装置の状況	良・否				
	エアリフトポンプの状況	良・否				
	返送汚泥量	4.5 m <sup>3</sup> /時				
	返送汚泥濃度	4000 mg/l				
接触酸化槽	水温	2 / °C	処理状況異常あり			
	pH	7.2				
	DO	2.0 mg/l				
	曝気の状態	良・否				

嬉野台生涯教育センター

浄化槽保守点検記録帳簿					
仕様	1,400人 190.0m <sup>3</sup> /日 10mg/l		実施年月日	令和 5年 6月 16日	
巡回用件	定期・要請・緊急		保守点検業者	[Redacted]	
天候:	晴	気温:	26 °C	作業時間	12:00 ~ 13:00
管理士氏名:	[Redacted]		作業者名	[Redacted]	
浄化槽管理士番号	[Redacted]		検印	[Redacted]	
技術管理者名	[Redacted]		放流水流量積算値	5174.8 m <sup>3</sup>	
	実施事項	実施結果		実施事項	実施結果
スクリーン	水温	22 °C	第二沈殿槽	汚泥沈殿状況	良・否
	流入水 pH	7.8		スカム発生状況	有・無
	荒目スクリーン	良・否		エアリフトポンプの状況	良・否
	流入水路の上昇	良・否		越流ぜきの状況	良・否
流量調整槽	ポンプの作動状況	良・否	消毒	固形錠剤補給量	1.0 kg
	液面スイッチ点検	良・否	汚泥管理	余剰汚泥引抜量	0 m <sup>3</sup>
	攪拌状況	良・否		汚泥処分量	0 m <sup>3</sup>
	浮遊物	有・無	機械室	調整ポンプNo.1	5.3 A
計量槽	計量ぜきの状況	良・否		調整ポンプNo.2	5.3 A
	返送ぜきの状況	良・否		調整ブロー	5.2 A
	移送量	6.5 m <sup>3</sup> /時		曝気ブローNo.1	17.0 A
曝気槽	水温	22 °C	曝気ブローNo.2	17.0 A	
	pH	7.4	消泡ポンプ	故障	
	DO	1.8 mg/l	放流水	水温	22 °C
	SV <sub>30</sub>	- %		色相	微黄色
	MLSS	1000 mg/l		臭気	有・無
	臭気・泡の発生	有・無		pH	7.1
	曝気の状況	良・否		透視度	50cm以上
	消泡ノズルの状況	良・無		残留塩素	0.1 mg/l
第一沈殿槽	汚泥沈殿状況	良・否	【特記事項】(異常部分の措置及び連絡事項)		
	スカム発生状況	有・無			
	スカム除去装置の状況	良・否			
	エアリフトポンプの状況	良・否			
	返送汚泥量	4.5 m <sup>3</sup> /時			
	返送汚泥濃度	2800 mg/l			
接触酸化槽	水温	22 °C	処理状況異常ありません		
	pH	7.3			
	DO	2.0 mg/l			
	曝気の状況	良・否			

嬉野台生涯教育センター

浄化槽保守点検記録帳簿					
仕 様	1,400人 190.0m <sup>3</sup> /日 10mg/l		実施年月日	令和 5 年 6 月 20 日	
巡回用件	定期・要請・緊急		保守点検業者	[Redacted]	
天候: 晴	気温:	28 °C	作業時間	14:10 ~ 14:55	
管理士氏名:	[Redacted]		作業者名	[Redacted]	
浄化槽管理士番号	[Redacted]		検 印	[Redacted]	
技術管理者名	[Redacted]		放流水流量積算値	5208.4 m <sup>3</sup>	
	実 施 事 項	実施結果		実 施 事 項	実施結果
スクリーン	水温	21 °C	第二沈殿槽	汚泥沈殿状況	良・否
	流入水 pH	7.3		スカム発生状況	有・無
	荒目スクリーン	良・否		エアリフトポンプの状況	良・否
	流入水路の上昇	良・否		越流ぜきの状況	良・否
流量調整槽	ポンプの作動状況	良・否	消毒汚泥管理	固形錠剤補給量	1.0 kg
	液面スイッチ点検	良・否		余剰汚泥引抜量	0 m <sup>3</sup>
	攪拌状況	良・否		汚泥処分量	0 m <sup>3</sup>
	浮遊物	有・無	機 械 室	調整ポンプNo.1	5.5 A
計量槽	計量ぜきの状況	良・否		調整ポンプNo.2	5.4 A
	返送ぜきの状況	良・否		調整ブロワー	5.4 A
	移送量	6.5 m <sup>3</sup> /時		曝気ブロワーNo.1	16.0 A
曝気槽	水温	22 °C	放流水	曝気ブロワーNo.2	16.5 A
	pH	7.5		消泡ポンプ	故障
	DO	1.8 mg/l	水温	22 °C	
	SV <sub>30</sub>	- %	色相	微黄色	
	MLSS	1000 mg/l	臭気	有・無	
	臭気・泡の発生	有・無	pH	7.2	
	曝気の状態	良・否	透視度	50cm 以上	
	消泡ノズルの状況	良・否	残留塩素	0.1 mg/l	
第一沈殿槽	汚泥沈殿状況	良・否	【特記事項】(異常部分の措置及び連絡事項)  処理状況異常有様せん		
	スカム発生状況	有・無			
	スカム除去装置の状況	良・否			
	エアリフトポンプの状況	良・否			
	返送汚泥量	4.5 m <sup>3</sup> /時			
	返送汚泥濃度	3700 mg/l			
接触酸化槽	水温	22 °C			
	pH	7.4			
	DO	2.0 mg/l			
	曝気の状態	良・否			

嬉野台生涯教育センター

浄化槽保守点検記録帳簿					
仕様	1,400人 190.0m <sup>3</sup> /日 10mg/l		実施年月日	令和 5年 6月 23日	
巡回用件	定期・要請・緊急		保守点検業者	[REDACTED]	
天候:	晴	気温:	25 °C	作業時間	12:00 ~ 13:00
管理士氏名:	[REDACTED]		作業者名	[REDACTED]	
浄化槽管理士番号	[REDACTED]		検印	[REDACTED]	
技術管理者名	[REDACTED]		放流水流量積算値	5266.7 m <sup>3</sup>	
	実施事項	実施結果		実施事項	実施結果
スクリーン	水温	22 °C	第二沈殿槽	汚泥沈殿状況	良・否
	流入水 pH	7.8		スカム発生状況	有・無
	荒目スクリーン	良・否		エアリフトポンプの状況	良・否
	流入水路の上昇	良・否		越流ぜきの状況	良・否
流量調整槽	ポンプの作動状況	良・否	消毒汚泥管理	固形錠剤補給量	1.0 kg
	液面スイッチ点検	良・否		余剰汚泥引抜量	0 m <sup>3</sup>
	攪拌状況	良・否		汚泥処分量	0 m <sup>3</sup>
	浮遊物	有・無	機械室	調整ポンプNo.1	5.5 A
計量槽	計量ぜきの状況	良・否		調整ポンプNo.2	5.4 A
	返送ぜきの状況	良・否		調整ブロワー	5.4 A
	移送量	6.5 m <sup>3</sup> /時		曝気ブロワーNo.1	16.0 A
曝気槽	水温	22 °C	曝気ブロワーNo.2	16.5 A	
	pH	7.4	消泡ポンプ	故障	
	DO	1.5 mg/l	放流水	水温	22 °C
	SV <sub>30</sub>	- %		色相	微黄色
	MLSS	1000 mg/l		臭気	有・無
	臭気・泡の発生	有・無		pH	7.3
	曝気状況	良・否		透視度	50cm以上
消泡ノズルの状況	良・否	残留塩素	0. / mg/l		
第一沈殿槽	汚泥沈殿状況	良・否	【特記事項】(異常部分の措置及び連絡事項)  処理状況異常有対せん		
	スカム発生状況	有・無			
	スカム除去装置の状況	良・否			
	エアリフトポンプの状況	良・否			
	返送汚泥量	4.5 m <sup>3</sup> /時			
	返送汚泥濃度	3700 mg/l			
接触酸化槽	水温	22 °C			
	pH	7.4			
	DO	2.0 mg/l			
	曝気状況	良・否			

嬉野台生涯教育センター

浄化槽保守点検記録帳簿						
仕様	1,400人 190.0m <sup>3</sup> /日 10mg/l		実施年月日	令和 5 年 6 月 27 日		
巡回用件	定期・要請・緊急		保守点検業者	[Redacted]		
天候:	晴	気温:	29 °C	作業時間	12:15 ~ 13:00	
管理士氏名:	[Redacted]		作業者名	[Redacted]		
浄化槽管理士番号	[Redacted]		検印	[Redacted]		
技術管理者名	[Redacted]		放流水流量積算値	5304.2 m <sup>3</sup>		
	実施事項	実施結果		実施事項	実施結果	
スクリーン	水温	23 °C	第二沈殿槽	汚泥沈殿状況	良・否	
	流入水 pH	7.7		スカム発生状況	有・無	
	荒目スクリーン	良・否		エアークリフトポンプの状況	良・否	
	流入水路の上昇	良・否		越流ぜきの状況	良・否	
流量調整槽	ポンプの作動状況	良・否	消毒汚泥管理	固形錠剤補給量	1.0 kg	
	液面スイッチ点検	良・否		余剰汚泥引抜量	0 m <sup>3</sup>	
	攪拌状況	良・否		汚泥処分量	0 m <sup>3</sup>	
	浮遊物	有・無	機械室	調整ポンプNo.1	5.4 A	
計量槽	計量ぜきの状況	良・否		調整ポンプNo.2	5.3 A	
	返送ぜきの状況	良・否		調整ブロー	5.3 A	
	移送量	6.5 m <sup>3</sup> /時		曝気ブローNo.1	16.0 A	
曝気槽	水温	23 °C	曝気ブローNo.2	16.5 A		
	pH	7.4	消泡ポンプ	故障		
	DO	1.0 mg/l	放流水	水温	23 °C	
	SV <sub>30</sub>	- %		色相	微黄色	
	MLSS	1000 mg/l		臭気	有・無	
	臭気・泡の発生	有・無		pH	7.3	
	曝気の状態	良・否		透視度	50cm以上	
	消泡ノズルの状況	良・否		残留塩素	0.1 mg/l	
第一沈殿槽	汚泥沈殿状況	良・否		【特記事項】(異常部分の措置及び連絡事項)		
	スカム発生状況	有・無		処理状況異常ありません		
	スカム除去装置の状況	良・否				
	エアークリフトポンプの状況	良・否				
	返送汚泥量	4.5 m <sup>3</sup> /時				
	返送汚泥濃度	3700 mg/l				
接触酸化槽	水温	23 °C				
	pH	7.4				
	DO	2.0 mg/l				
	曝気の状態	良・否				

嬉野台生涯教育センター

浄化槽保守点検記録帳簿					
仕様	1,400人 190.0m <sup>3</sup> /日 10mg/l		実施年月日	令和 5年 6月 30日	
巡回用件	定期・要請・緊急		保守点検業者	[Redacted]	
天候: <も>	気温:	27 °C	作業時間	9:10 ~ 10:00	
管理士氏名:	[Redacted]		作業者名	[Redacted]	
浄化槽管理士番号	[Redacted]		検印	[Redacted]	
技術管理者名	[Redacted]		放流水流量積算値	5355.8	
	実施事項	実施結果		実施事項	実施結果
スクリーン	水温	23 °C	第二沈殿槽	汚泥沈殿状況	良・否
	流入水 pH	7.6		スカム発生状況	有・無
	荒目スクリーン	良・否		エアリフトポンプの状況	良・否
	流入水路の上昇	良・否		越流ぜきの状況	良・否
流量調整槽	ポンプの作動状況	良・否	消臭汚泥管理	固形錠剤補給量	1.0 kg
	液面スイッチ点検	良・否		余剰汚泥引抜量	0 m <sup>3</sup>
	攪拌状況	良・否		汚泥処分量	0 m <sup>3</sup>
	浮遊物	有・無	機械室	調整ポンプNo.1	5.4 A
計量槽	計量ぜきの状況	良・否		調整ポンプNo.2	5.3 A
	返送ぜきの状況	良・否		調整ブロー	5.3 A
	移送量	6.5 m <sup>3</sup> /時		曝気ブローNo.1	16.0 A
曝気槽	水温	23 °C	放流水	曝気ブローNo.2	16.5 A
	pH	7.4		消泡ポンプ	故障
	DO	6.2 mg/l	水温	23 °C	
	SV <sub>30</sub>	- %	色相	微黄色	
	MLSS	1000 mg/l	臭気	有・無	
	臭気・泡の発生	有・無	pH	7.3	
	曝気の状態	良・否	透視度	50cm以上	
	消泡ノズルの状況	良・否	残留塩素	0.1 mg/l	
第一沈殿槽	汚泥沈殿状況	良・否	【特記事項】(異常部分の措置及び連絡事項)		
	スカム発生状況	有・無			
	スカム除去装置の状況	良・否			
	エアリフトポンプの状況	良・否			
	返送汚泥量	4.5 m <sup>3</sup> /時			
	返送汚泥濃度	3700 mg/l			
接触酸化槽	水温	23 °C	処理状況異常有2セル		
	pH	7.4			
	DO	2.0 mg/l			
	曝気の状態	良・否			

# 定期点検業務報告書

検印 [Redacted]

施設名	嬉野台生涯教育センター 中継ポンプ槽	点検者		
点検日	令和 5 年 6 月 20 日 (火)			
ポンプ型式	1 号	80DLJ61.5	2 号	80DLA61.5
ポンプ電圧	200V	ポンプ出力		1.5kW
	点検項目	状況	備考	
マ ン ホ ー ル 内 部	マンホール蓋等の外観	異常 (有・ <del>無</del> )		
	スカムの状況等	異常 (有・ <del>無</del> )		
	堆積物の状況等	異常 (有・ <del>無</del> )		
	異常な水位の上昇	異常 (有・ <del>無</del> )		
	ポンプの稼働状況	異常 (有・ <del>無</del> )		
	逆止弁の動作状況	異常 (有・ <del>無</del> )		
	フロートスイッチの確認	異常 (有・ <del>無</del> )		
【特記事項】				
<p style="font-size: 1.2em; font-family: cursive;">特に異常ありません</p>				

異常ありませんでした。

嬉野台生涯教育センター 様

7 月度汚水処理施設管理結果集計表

現場名 嬉野台生涯教育センター

令和 5 年 7 月 3 / 日

## 計 量 証 明 書

2023年7月18日



貴依頼による計量結果を次の通り証明します。

採取日 2023年7月7日 採取時刻 9時30分 採取区分 貴採取  
施設名 嬉野台生涯教育センター 容量 190m<sup>3</sup>/日 人 槽 1400人  
試料名 浄化槽 放流水 所在地 加東市下久米1227-18

計量の対象	計量の結果	計量の方法
*透視度 (度)	30 以上	JIS K0102-9
*臭気	微下水臭	JIS K0102-10.1
*外観(色相)	微黄色	JIS K0102-8
水素イオン濃度(pH)	7.4 (25℃)	JIS K0102-12.1
浮遊物質(SS) (mg/L)	1	昭和46年12月28日 環境庁告示第59号 付表9
化学的酸素要求量(COD) (mg/L)	13	JIS K0102-17
生物化学的酸素要求量(BOD) (mg/L)	1.8	JIS K0102-21, 32.3
塩化物イオン(Cl <sup>-</sup> ) (mg/L)	59	JIS K0102-35.2
窒素含有量 (mg/L)	25	JIS K0102-45.2
磷含有量 (mg/L)	5.8	JIS K0102-46.3.1
*大腸菌群数 (個/mL)	30 未満(定量限界)	JIS K0102-72.3

備考:

(\*印の項目は、計量法第107条の対象外です。)







嬉野台生涯教育センター

浄化槽保守点検記録帳簿					
仕様	1,400人 190.0m <sup>3</sup> /日 10mg/l		実施年月日	令和5年7月3日	
巡回用件	(定期)・要請・緊急		保守点検業者	[Redacted]	
天候:	(晴)	気温:	29 °C	作業時間	12:30 ~ 13:20
管理士氏名:	[Redacted]		作業者名	[Redacted]	
浄化槽管理士番号	[Redacted]		検印	[Redacted]	
技術管理者名	[Redacted]		放流水流量積算値	5407.5 m <sup>3</sup>	
	実施事項	実施結果		実施事項	実施結果
スクリーン	水温	24 °C	第二沈殿槽	汚泥沈殿状況	(良)・否
	流入水 pH	8.0		スカム発生状況	有・(無)
	荒目スクリーン	(良)・否		エアールフトポンプの状況	(良)・否
	流入水路の上昇	(良)・否		越流ぜきの状況	(良)・否
流量調整槽	ポンプの作動状況	(良)・否	消毒汚泥管理	固形錠剤補給量	1.0 kg
	液面スイッチ点検	(良)・否		余剰汚泥引抜量	0 m <sup>3</sup>
	攪拌状況	(良)・否		汚泥処分量	0 m <sup>3</sup>
	浮遊物	有・(無)		調整ポンプNo.1	5.5 A
計量槽	計量ぜきの状況	(良)・否	機械室	調整ポンプNo.2	5.3 A
	返送ぜきの状況	(良)・否		調整ブロー	5.3 A
	移送量	6.5 m <sup>3</sup> /時		曝気ブローNo.1	16.0 A
曝気槽	水温	25 °C		曝気ブローNo.2	16.5 A
	pH	7.3		消泡ポンプ	故障
	DO	2.0 mg/l		放流水	水温
	SV <sub>30</sub>	- %	色相		微黄色
	MLSS	1000 mg/l	臭気		有・(無)
	臭気・泡の発生	有・(無)	pH		7.2
	曝気の状態	(良)・否	透視度		50cm以上
消泡ノズルの状況	良・(否)	残留塩素	0.1 mg/l		
第一沈殿槽	汚泥沈殿状況	(良)・否	【特記事項】(異常部分の措置及び連絡事項) 処理状況異常ありません		
	スカム発生状況	有・(無)			
	スカム除去装置の状況	(良)・否			
	エアールフトポンプの状況	(良)・否			
	返送汚泥量	4.5 m <sup>3</sup> /時			
	返送汚泥濃度	3800 mg/l			
接触酸化槽	水温	24 °C			
	pH	7.2			
	DO	2.4 mg/l			
	曝気の状態	(良)・否			

嬉野台生涯教育センター

浄化槽保守点検記録帳簿					
仕様	1,400人 190.0m <sup>3</sup> /日 10mg/l		実施年月日	令和5年7月7日	
巡回用件	定期・要請・緊急		保守点検業者	[Redacted]	
天候	晴	気温	27 °C	作業時間	9:30 ~ 10:30
管理士氏名	[Redacted]		作業者名	[Redacted]	
浄化槽管理士番号	[Redacted]		検印	[Redacted]	
技術管理者名	[Redacted]		放流水流量積算値	55126 m <sup>3</sup>	
	実施事項	実施結果		実施事項	実施結果
スクリーン	水温	24 °C	第二沈殿槽	汚泥沈殿状況	良・否
	流入水 pH	8.1		スカム発生状況	有・無
	荒目スクリーン	良・否		エアリフトポンプの状況	良・否
	流入水路の上昇	良・否		越流ぜきの状況	良・否
流量調整槽	ポンプの作動状況	良・否	消毒汚泥管理	固形錠剤補給量	1.0 kg
	液面スイッチ点検	良・否		余剰汚泥引抜量	0 m <sup>3</sup>
	攪拌状況	良・否		汚泥処分量	0 m <sup>3</sup>
	浮遊物	有・無	機械室	調整ポンプNo.1	5.5 A
計量槽	計量ぜきの状況	良・否		調整ポンプNo.2	5.3 A
	返送ぜきの状況	良・否		調整ブロー	5.3 A
	移送量	6.5 m <sup>3</sup> /時		曝気ブローNo.1	16.0 A
曝気槽	水温	26 °C		曝気ブローNo.2	16.5 A
	pH	7.3	放流水	消泡ポンプ	故障
	DO	2.0 mg/l		水温	25 °C
	SV <sub>30</sub>	- %		色相	微黄色
	MLSS	1000 mg/l		臭気	有・無
	臭気・泡の発生	有・無		pH	7.2
	曝気の状況	良・否		透視度	50cm以上
	消泡ノズルの状況	良・否		残留塩素	0.1 mg/l
第一沈殿槽	汚泥沈殿状況	良・否		【特記事項】(異常部分の措置及び連絡事項)  処理状況異常ありませし	
	スカム発生状況	有・無			
	スカム除去装置の状況	良・否			
	エアリフトポンプの状況	良・否			
	返送汚泥量	4.5 m <sup>3</sup> /時			
	返送汚泥濃度	3800 mg/l			
接触酸化槽	水温	25 °C			
	pH	7.3			
	DO	2.0 mg/l			
	曝気の状況	良・否			

嬉野台生涯教育センター

浄化槽保守点検記録帳簿						
仕様	1,400人 190.0m <sup>3</sup> /日 10mg/l		実施年月日	令和 5年 7月 11日		
巡回用件	定期・要請・緊急		保守点検業者	[Redacted]		
天候:	晴	気温:	27/28 °C	作業時間	14:25 ~ 15:15	
管理士氏名:	[Redacted]		作業者名	[Redacted]		
浄化槽管理士番号	[Redacted]		検印	[Redacted]		
技術管理者名	[Redacted]		放流水流量積算値	5584.7 m <sup>3</sup>		
	実施事項	実施結果		実施事項	実施結果	
スクリーン	水温	25 °C	第二沈殿槽	汚泥沈殿状況	良・否	
	流入水 pH	8.1		スカム発生状況	有・無	
	荒目スクリーン	良・否		エアリフトポンプの状況	良・否	
	流入水路の上昇	良・否		越流ぜきの状況	良・否	
流量調整槽	ポンプの作動状況	良・否	汚泥管理	固形錠剤補給量	1.0 kg	
	液面スイッチ点検	良・否		余剰汚泥引抜量	0 m <sup>3</sup>	
	攪拌状況	良・否		汚泥処分量	0 m <sup>3</sup>	
	浮遊物	有・無	機械室	調整ポンプNo.1	5.5 A	
計量槽	計量ぜきの状況	良・否		調整ポンプNo.2	5.3 A	
	返送ぜきの状況	良・否		調整ブロー	5.3 A	
	移送量	6.5 m <sup>3</sup> /時		曝気ブローNo.1	16.0 A	
曝気槽	水温	26 °C	曝気ブローNo.2	16.5 A		
	pH	7.6	消泡ポンプ	故障		
	DO	1.0 mg/l	放流水	水温	26 °C	
	SV <sub>30</sub>	- %		色相	微黄色	
	MLSS	1000 mg/l		臭気	有・無	
	臭気・泡の発生	有・無		pH	7.5	
	曝気の状態	良・否		透視度	50cm以上	
	消泡ノズルの状況	良・否		残留塩素	0.1 mg/l	
第一沈殿槽	汚泥沈殿状況	良・否		【特記事項】(異常部分の措置及び連絡事項)		
	スカム発生状況	有・無				
	スカム除去装置の状況	良・否				
	エアリフトポンプの状況	良・否				
	返送汚泥量	4.5 m <sup>3</sup> /時				
	返送汚泥濃度	3900 mg/l				
接触酸化槽	水温	26 °C	処理状況異常有りです			
	pH	7.5				
	DO	1.5 mg/l				
	曝気の状態	良・否				

嬉野台生涯教育センター

浄化槽保守点検記録帳簿					
仕様	1,400人 190.0m <sup>3</sup> /日 10mg/l		実施年月日	令和 5年 7月 14日	
巡回用件	定期・要請・緊急		保守点検業者	[Redacted]	
天候:	晴	気温:	28 °C	作業時間	9:10 ~ 9:55
管理士氏名:	[Redacted]		作業者名	[Redacted]	
浄化槽管理士番号	[Redacted]		検印	[Redacted]	
技術管理者名	[Redacted]		放流水流量積算値	5592.1 m <sup>3</sup>	
	実施事項	実施結果		実施事項	実施結果
スクリーン	水温	25 °C	第二沈殿槽	汚泥沈殿状況	良・否
	流入水 pH	7.8		スカム発生状況	有・無
	荒目スクリーン	良・否		エアークリフトポンプの状況	良・否
	流入水路の上昇	良・否		越流ぜきの状況	良・否
流量調整槽	ポンプの作動状況	良・否	汚泥管理	固形錠剤補給量	0 kg
	液面スイッチ点検	良・否		余剰汚泥引抜量	0 m <sup>3</sup>
	攪拌状況	良・否		汚泥処分量	0 m <sup>3</sup>
	浮遊物	有・無	機械室	調整ポンプNo.1	5.5 A
計量槽	計量ぜきの状況	良・否		調整ポンプNo.2	5.3 A
	返送ぜきの状況	良・否		調整ブロー	5.3 A
	移送量	6.5 m <sup>3</sup> /時		曝気ブローNo.1	16.0 A
曝気槽	水温	25 °C	曝気ブローNo.2	16.5 A	
	pH	7.5	消泡ポンプ	故障	
	DO	1.0 mg/l	放流水	水温	25 °C
	SV <sub>30</sub>	- %		色相	微黄色
	MLSS	1000 mg/l		臭気	有・無
	臭気・泡の発生	有・無		pH	7.5
	曝気の状態	良・否		透視度	50cm以上
	消泡ノズルの状況	良・無		残留塩素	0.1 mg/l
第一沈殿槽	汚泥沈殿状況	良・否	【特記事項】(異常部分の措置及び連絡事項)  処理状況異常有(注)		
	スカム発生状況	有・無			
	スカム除去装置の状況	良・否			
	エアークリフトポンプの状況	良・否			
	返送汚泥量	4.5 m <sup>3</sup> /時			
	返送汚泥濃度	2900 mg/l			
接触酸化槽	水温	25 °C			
	pH	7.5			
	DO	1.5 mg/l			
	曝気の状態	良・否			

嬉野台生涯教育センター

浄化槽保守点検記録帳簿							
仕様	1,400人 190.0m <sup>3</sup> /日 10mg/l	実施年月日	令和 5年 7月 18日				
巡回用件	定期・要請・緊急	保守点検業者	[Redacted]				
天候:	晴	気温:	32 °C	作業時間			
管理士氏名:		[Redacted]		作業時間			
浄化槽管理士番号		[Redacted]		作業時間			
技術管理者名		[Redacted]		検印			
			放流水流量積算値	5642.5 m <sup>3</sup>			
実施事項		実施結果		実施事項		実施結果	
スクリーン	水温	26 °C		第二沈殿槽	汚泥沈殿状況	(良)・否	
	流入水 pH	8.0			スカム発生状況	有・(無)	
	荒目スクリーン	(良)・否			エアリフトポンプの状況	(良)・否	
	流入水路の上昇	(良)・否			越流ぜきの状況	(良)・否	
流量調整槽	ポンプの作動状況	(良)・否		消毒汚泥管理	固形錠剤補給量	0 kg	
	液面スイッチ点検	(良)・否			余剰汚泥引抜量	0 m <sup>3</sup>	
	攪拌状況	(良)・否			汚泥処分量	0 m <sup>3</sup>	
	浮遊物	有・(無)			調整ポンプNo.1	5.5 A	
計量槽	計量ぜきの状況	(良)・否		機械室	調整ポンプNo.2	5.3 A	
	返送ぜきの状況	(良)・否			調整ブロー	5.3 A	
	移送量	6.5 m <sup>3</sup> /時			曝気ブローNo.1	16.0 A	
曝気槽	水温	27 °C			曝気ブローNo.2	16.5 A	
	pH	7.3			消泡ポンプ	故障	
	DO	2.0 mg/l			放流水	水温	27 °C
	SV <sub>30</sub>	-		色相		微黄色	
	MLSS	1000 mg/l		臭気		有・(無)	
	臭気・泡の発生	有・(無)		pH		7.3	
	曝気の状態	(良)・否		透視度		50cm以上	
消泡ノズルの状況	良・(否)		残留塩素	0.1 mg/l			
第一沈殿槽	汚泥沈殿状況	(良)・否		【特記事項】(異常部分の措置及び連絡事項)  処理状況異常有り			
	スカム発生状況	有・(無)					
	スカム除去装置の状況	(良)・否					
	エアリフトポンプの状況	(良)・否					
	返送汚泥量	4.5 m <sup>3</sup> /時					
	返送汚泥濃度	3900 mg/l					
接触酸化槽	水温	26 °C					
	pH	7.4					
	DO	2.5 mg/l					
	曝気の状態	(良)・否					

嬉野台生涯教育センター

浄化槽保守点検記録帳簿							
仕様	1,400人 190.0m <sup>3</sup> /日 10mg/l		実施年月日	令和 5 年 7 月 2 / 日			
巡回用件	定期・要請・緊急		保守点検業者	[Redacted]			
天候:	晴	気温:	27 °C	作業時間	12:15 ~ 13:00		
管理士氏名:	[Redacted]		作業者名	[Redacted]			
浄化槽管理士番号	[Redacted]		検印	[Redacted]			
技術管理者名	[Redacted]		放流水流量積算値	5663.7 m <sup>3</sup>			
実施事項		実施結果		実施事項		実施結果	
スクリーン	水温	27 °C		第二沈殿槽	汚泥沈殿状況	(良)・否	
	流入水 pH	8.1			スカム発生状況	有・(無)	
	荒目スクリーン	(良)・否			エアークリフトポンプの状況	(良)・否	
	流入水路の上昇	(良)・否			越流ぜきの状況	(良)・否	
流量調整槽	ポンプの作動状況	(良)・否		消毒汚泥管理	固形錠剤補給量	1 kg	
	液面スイッチ点検	(良)・否			余剰汚泥引抜量	0 m <sup>3</sup>	
	攪拌状況	(良)・否			汚泥処分量	0 m <sup>3</sup>	
	浮遊物	有・(無)		機械室	調整ポンプNo.1	5.5 A	
計量槽	計量ぜきの状況	(良)・否			調整ポンプNo.2	5.3 A	
	返送ぜきの状況	(良)・否			調整ブロー	5.4 A	
	移送量	6.5 m <sup>3</sup> /時			曝気ブローNo.1	16.0 A	
曝気槽	水温	26 °C		曝気ブローNo.2	16.5 A		
	pH	7.4		消泡ポンプ	故障		
	DO	1.3 mg/l		放流水	水温	26 °C	
	SV <sub>30</sub>	-			色相	微黄色	
	MLSS	1000 mg/l			臭気	有・(無)	
	臭気・泡の発生	有・(無)			pH	7.5	
	曝気の状態	(良)・否			透視度	50cm以上	
消泡ノズルの状況	良・(否)		残留塩素	0.1 mg/l			
第一沈殿槽	汚泥沈殿状況	(良)・否		【特記事項】(異常部分の措置及び連絡事項)			
	スカム発生状況	有・(無)					
	スカム除去装置の状況	(良)・否					
	エアークリフトポンプの状況	(良)・否					
	返送汚泥量	4.5 m <sup>3</sup> /時					
	返送汚泥濃度	3900 mg/l					
接触酸化槽	水温	26 °C		処理状況異常有るせん			
	pH	7.6					
	DO	2.4 mg/l					
	曝気の状態	(良)・否					

嬉野台生涯教育センター

浄化槽保守点検記録帳簿					
仕様	1,400人 190.0m <sup>3</sup> /日 10mg/ℓ		実施年月日	令和 5 年 7 月 25 日	
巡回用件	定期・要請・緊急		保守点検業者	██████████	
天候: 晴	気温:	33 ℃	作業時間	12:15 ~ 13:00	
管理士氏名:	██████████		作業者名	██████████	
浄化槽管理士番号	██████████		検印	██████████	
技術管理者名	██████████		放流水流量積算値	5691.4 m <sup>3</sup>	
	実施事項	実施結果		実施事項	実施結果
スクリーン	水温	28 ℃	第二沈殿槽	汚泥沈殿状況	良・否
	流入水 pH	7.8		スカム発生状況	有・無
	荒目スクリーン	良・否		エアリフトポンプの状況	良・否
	流入水路の上昇	良・否		越流ぜきの状況	良・否
流量調整槽	ポンプの作動状況	良・否	消泡汚泥管理	固形錠剤補給量	0 kg
	液面スイッチ点検	良・否		余剰汚泥引抜量	0 m <sup>3</sup>
	攪拌状況	良・否		汚泥処分量	0 m <sup>3</sup>
	浮遊物	有・無	機械室	調整ポンプNo.1	5.5 A
計量槽	計量ぜきの状況	良・否		調整ポンプNo.2	5.3 A
	返送ぜきの状況	良・否		調整ブロー	5.4 A
	移送量	6.5 m <sup>3</sup> /時		曝気ブローNo.1	17.0 A
曝気槽	水温	28 ℃	曝気ブローNo.2	17.0 A	
	pH	7.4	消泡ポンプ	故障	
	DO	1.0 mg/ℓ	放流水	水温	28 ℃
	SV <sub>30</sub>	- %		色相	微黄色
	MLSS	1000 mg/ℓ		臭気	有・無
	臭気・泡の発生	有・無		pH	7.4
	曝気の状況	良・否		透視度	50 cm以上
消泡ノズルの状況	良・否	残留塩素	0. /mg/ℓ		
第一沈殿槽	汚泥沈殿状況	良・否	【特記事項】(異常部分の措置及び連絡事項)  処理状況異常有りません		
	スカム発生状況	有・無			
	スカム除去装置の状況	良・否			
	エアリフトポンプの状況	良・否			
	返送汚泥量	4.5 m <sup>3</sup> /時			
	返送汚泥濃度	2900 mg/ℓ			
接触酸化槽	水温	28 ℃			
	pH	7.5			
	DO	2.0 mg/ℓ			
	曝気の状況	良・否			

嬉野台生涯教育センター

浄化槽保守点検記録帳簿							
仕様	1,400人 190.0m <sup>3</sup> /日 10mg/l		実施年月日	令和 5 年 7 月 28 日			
巡回用件	定期・要請・緊急		保守点検業者	[Redacted]			
天候:	晴	気温:	25 °C	作業時間	14:35 ~ 15:25		
管理士氏名:	[Redacted]		作業者名	[Redacted]			
浄化槽管理士番号	[Redacted]		検印	[Redacted]			
技術管理者名	[Redacted]		放流水流量積算値	5737.1 m <sup>3</sup>			
実施事項		実施結果		実施事項		実施結果	
スクリーン	水温	20 °C		第二沈殿槽	汚泥沈殿状況	○・否	
	流入水 pH	7.7			スカム発生状況	有・○	
	荒目スクリーン	○・否			エアリフトポンプの状況	○・否	
	流入水路の上昇	○・否			越流ぜきの状況	○・否	
流量調整槽	ポンプの作動状況	○・否		消汚泥管理	固形錠剤補給量	0 kg	
	液面スイッチ点検	○・否			余剰汚泥引抜量	0 m <sup>3</sup>	
	攪拌状況	○・否			汚泥処分量	0 m <sup>3</sup>	
	浮遊物	有・○			調整ポンプNo.1	5.5 A	
計量槽	計量ぜきの状況	○・否		機械室	調整ポンプNo.2	5.3 A	
	返送ぜきの状況	○・否			調整ブロー	5.4 A	
	移送量	6.5 m <sup>3</sup> /時			曝気ブローNo.1	17.0 A	
曝気槽	水温	20 °C			曝気ブローNo.2	17.0 A	
	pH	7.4			消泡ポンプ	故障	
	DO	1.8 mg/l			放流水	水温	29 °C
	SV <sub>30</sub>	-		色相		微黄色	
	MLSS	1100 mg/l		臭気		有・○	
	臭気・泡の発生	有・○		pH		7.2	
	曝気の状態	○・否		透視度		50cm以上	
消泡ノズルの状況	良・○		残留塩素	0.1/mg/l			
第一沈殿槽	汚泥沈殿状況	○・否		【特記事項】(異常部分の措置及び連絡事項)			
	スカム発生状況	有・○					
	スカム除去装置の状況	良・否					
	エアリフトポンプの状況	○・否					
	返送汚泥量	4.5 m <sup>3</sup> /時					
	返送汚泥濃度	3900 mg/l					
接触酸化槽	水温	20 °C		処理状況異常有るせん			
	pH	7.5					
	DO	2.5 mg/l					
	曝気の状態	○・否					

嬉野台生涯教育センター

浄化槽保守点検記録帳簿					
仕様	1,400人 190.0m <sup>3</sup> /日 10mg/l		実施年月日	令和 5年 7月 31日	
巡回用件	(定期)・要請・緊急		保守点検業者	[REDACTED]	
天候: <曇>	気温:	32 °C	作業時間	14:35 ~ 15:25	
管理士氏名:	[REDACTED]		作業者名	[REDACTED]	
浄化槽管理士番号	[REDACTED]		検印	[REDACTED]	
技術管理者名	[REDACTED]		放流水流量積算値	5787.6 m <sup>3</sup>	
	実施事項	実施結果		実施事項	実施結果
スクリーン	水温	27 °C	第二沈殿槽	汚泥沈殿状況	(良)・否
	流入水 pH	8.1		スカム発生状況	有・(無)
	荒目スクリーン	(良)・否		エアークリフトポンプの状況	(良)・否
	流入水路の上昇	(良)・否		越流ぜきの状況	(良)・否
流量調整槽	ポンプの作動状況	(良)・否	消臭汚泥管理	固形錠剤補給量	0 kg
	液面スイッチ点検	(良)・否		余剰汚泥引抜量	0 m <sup>3</sup>
	攪拌状況	(良)・否		汚泥処分量	0 m <sup>3</sup>
	浮遊物	有・(無)	機械室	調整ポンプNo.1	5.4 A
計量槽	計量ぜきの状況	(良)・否		調整ポンプNo.2	5.3 A
	返送ぜきの状況	(良)・否		調整ブロワー	5.4 A
	移送量	6.5 m <sup>3</sup> /時		曝気ブロワーNo.1	17.0 A
曝気槽	水温	28 °C	曝気ブロワーNo.2	17.0 A	
	pH	7.3	消泡ポンプ	故障	
	DO	2.4 mg/l	放流水	水温	28 °C
	SV <sub>30</sub>	- %		色相	微黄色
	MLSS	1100 mg/l		臭気	有・(無)
	臭気・泡の発生	有・(無)		pH	7.1
	曝気の状態	(良)・否		透視度	50cm以上
	消泡ノズルの状況	良・(否)		残留塩素	0.1 mg/l
第一沈殿槽	汚泥沈殿状況	(良)・否	【特記事項】(異常部分の措置及び連絡事項)  処理状況異常ありません		
	スカム発生状況	有・(無)			
	スカム除去装置の状況	(良)・否			
	エアークリフトポンプの状況	(良)・否			
	返送汚泥量	4.5 m <sup>3</sup> /時			
	返送汚泥濃度	3900 mg/l			
接触酸化槽	水温	28 °C			
	pH	7.1			
	DO	2.2 mg/l			
	曝気の状態	(良)・否			

# 定期点検業務報告書

検印

印

施設名	嬉野台生涯教育センター 中継ポンプ槽			点検者	
点検日	令和 5 年 7 月 21 日 (金)				
ポンプ型式	1号	80DLJ61.5	2号	80DLA61.5	
ポンプ電圧	200V	ポンプ出力		1.5kW	
	点検項目	状況	備考		
マ ン ホ ー ル 内 部	マンホール蓋等の外観	異常(有・ <input checked="" type="radio"/> 無)			
	スカムの状況等	異常(有・ <input checked="" type="radio"/> 無)			
	堆積物の状況等	異常(有・ <input checked="" type="radio"/> 無)			
	異常な水位の上昇	異常(有・ <input checked="" type="radio"/> 無)			
	ポンプの稼働状況	異常(有・ <input checked="" type="radio"/> 無)			
	逆止弁の動作状況	異常(有・ <input checked="" type="radio"/> 無)			
	フロートスイッチの確認	異常(有・ <input checked="" type="radio"/> 無)			
【特記事項】					
特に異常ありません					

## 「簡易専用水道」定期検査結果報告書

水道法第34条の2第2項の規定に基づき、貴所に設置されている「簡易専用水道」に対し定期検査を実施したところ、次のとおりであります。

検査日 2023年4月17日

建築物	名称	兵庫県立嬉野台生涯教育センター		
	所在地	兵庫県加東市下久米1227-18	電話	0795-44-0711
設置者	名称	兵庫県		
	所在地	兵庫県神戸市中央区下山手通五丁目10番1号	電話	078-341-7711
管理者	名称	公益財団法人 兵庫県生きがい創造協会 嬉野台生涯教育センター		
	所在地	兵庫県加東市下久米1227-18	電話	0795-44-0711
実務担当者	名称		電話	0795-44-0711

## 施設概要

ビル管理法の適用		無	建築物環境衛生管理技術者		免状番号			
主用途	研修・宿泊施設		届出(整理)番号		97-25	届出年月日	1987年2月24日	
給水方式	高置水槽式					設置年月	1979年7月	
受水槽	槽数	2	有効容量	19.6	m <sup>3</sup>	高置水槽	槽数	2
	形状	2基2槽	設置場所	建物内 地上式 本部棟機械室内		設置場所	本部棟塔屋上, リーダー管理棟	
	材質	角型FRP					材質	SUS製

## 1. 施設及びその管理の状態に関する検査

検査事項	判定基準	判定			
		受水槽		高置水槽	
1. 水槽の周囲の状態	点検、清掃、修理等に支障のない空間が確保されていること。	1	○	26	○
	清潔であり、ごみ、汚物等が置かれていないこと。	2	○	27	○
	水槽周辺にたまり水、湧水等がないこと。	3	○	28	○
2. 水槽本体の状態	点検、清掃、修理等に支障のない形状であること。	4	○	29	○
	亀裂し、又は漏水している箇所がないこと。	5	○	30	○
	雨水等が入り込む開口部や接合部のすき間がないこと。	6	○	31	○
3. 水槽上部の状態	水位電極部、揚水管等の接合部が固定され、防水密閉されていること。	7	○	32	○
	水槽上部は水たまりができない状態であり、ほこりその他衛生上有害なものが堆積していないこと。	8	○	33	○
	水槽のふたの上には他の設備機器等が置かれていないこと。	9	○	34	○
4. 水槽内部の状態	水槽の上床盤の上には水を汚染するおそれのある設備、機器等が置かれていないこと。	10	○	35	○
	汚泥、赤さび等の沈積物、槽内壁又は内部構造物の汚れ、塗装の剥離等が異常に存在しないこと。	11	○	36	○
	掃除が定期的に行われていることが明らかであること。	12	○	37	○
	外壁の塗装の劣化等により光が透過する状態になっていないこと。	13	○	38	○
	当該設備以外の配管設備が設置されていないこと。	14	○	39	○
流入口と流出口が近接していないこと。	15	○	40	○	
水中及び水面に異常な浮遊物質が認められないこと。	16	○	41	○	

5. 水槽のマンホール の状態	ふたが防水密閉型のものであって、ほこりその他衛生上有害なものが入らないものであり、点検を行う者以外の者が安易に開閉できないものであること。	17	○	42	○
	マンホール面は、槽上面から衛生上有効に立ち上がっていること。	18	○	43	○
6. 水槽の オーバーフロー管 の状態	管端部からほこりその他衛生上有害なものが入らない状態にあること。	19	○	44	○
	管端部の防虫網が確認でき、正常であること。また、網目の大きさは虫等の侵入を防ぐのに十分なものであること。	20	○	45	○
	管端部と排水管の流入口等とは直接連結されておらず、その間隔は逆流の防止に十分な距離であること。	21	○	46	○
7. 水槽の通気管 の状態	管端部からほこりその他衛生上有害なものが入らない状態にあること。	22	○	47	○
	管端部の防虫網が確認でき、正常であること。また、網目の大きさは虫等の侵入を防ぐのに十分なものであること。	23	○	48	○
	通気管として十分な有効断面積を有するものであること。	24	○	49	○
8. 水槽の水 抜管の状態	管端部と排水管の流入口等とは直接連結されておらず、その間隔は逆流の防止に十分な距離であること。	25	○	50	○
9. 給水管等 の状態	当該設備以外の配管設備と直接連結されていないこと。			51	○
	水を汚染するおそれのある設備の中を貫通していないこと。			52	○

## 2. 給水栓における水質の検査

検査事項	判定基準	判定	
10. 臭気	異常な臭気が認められないこと。	53	○
11. 味	異常な味が認められないこと。	54	○
12. 色	異常な色が認められないこと。	55	○
13. 色度	5度以下であること。( 1度未満 )	56	○
14. 濁度	2度以下であること。( 0.5度未満 )	57	○
15. 残留塩素	検出されること。( 0.3 mg/L )	58	○

## 3. 書類の整理等に関する検査

検査事項	判定基準	判定	
16. 書類の整理 及び保存の 状況	簡易専用水道の設備の配置及び系統を明らかにした図面、受水槽の周囲の構造物の配置を明らかにした平面図及び水槽の掃除の記録その他の帳簿書類が整備保存されていること。	59	○
記録の名称	記録有無	実施日	業者名
掃除の記録	有	2023年2月20日	エース消毒株式会社

## 4. 指摘・助言事項

<p>《指摘事項》 特にありません。</p> <p>《助言事項》 特にありません。</p>
---

## 5. 総合判定

1. 良好である。			
検査員氏名		前回検査日	2022年4月7日



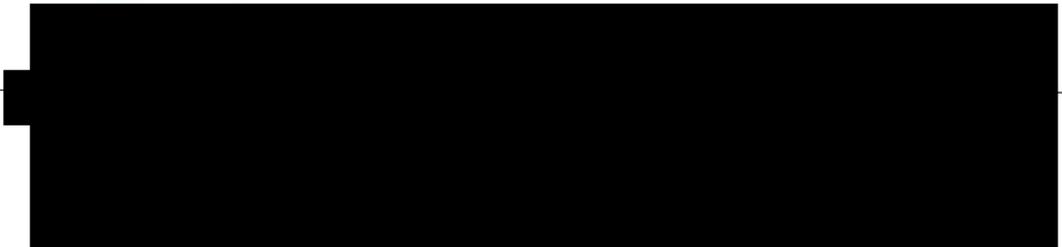












# 貯水槽清掃報告書

2023 年 2 月 20 日

施工場所 加東市下久米1227-18

兵庫県立  
嬉野台生涯教育センター

依頼者 住所

氏名

施工者



作業場所	兵庫県立 嬉野台生涯教育センター							
作業実施日	2023 年 2 月 20 日 (月) 天気 曇り							
作業時間	8 時 50 分 ~ 15 時 30 分							
作業者	有資格者	[REDACTED]						
	補助者名	[REDACTED]						
断水時間	9 時 00 分 ~ 12 時 00 分 (青少年宿泊棟) 13 時 00 分 ~ 15 時 00 分 (成人宿泊棟) 9 時 00 分 ~ 11 時 00 分 (本部棟)							
受水槽	容量	槽数		構造	場所		備考	
	24 m <sup>3</sup>	2		FRP製	屋内地上		本部棟	
	点検状況	さび	異物	沈査	亀裂	ボールタップ	マンホール蓋	満減水装置
		① 無	有 ② 無	① 無	有 ② 無	① 良 否	① 良 否	① 良 否
	特記事項							
高架水槽	容量	槽数		構造	場所		備考	
	6 m <sup>3</sup>	1		SUS製	屋上		本部棟	
	点検状況	さび	異物	沈査	亀裂	ボールタップ	マンホール蓋	満減水装置
		① 無	有 ② 無	① 無	有 ② 無	良 否	① 良 否	① 良 否
	特記事項							

受水槽	容量	槽数		構造	場所	備考		
	8 m <sup>3</sup>	1		FRP製	屋外地上	成人宿泊棟		
	点検状況	さび	異物	沈査	亀裂	ボールタップ	マンホール蓋	満減水装置
		① 無	有 ② 無	① 無	有 ② 無	良 ③ 否	④ 否	⑤ 否
	特記事項							
高架水槽	容量	槽数		構造	場所	備考		
	2 m <sup>3</sup>	1		FRP製	屋上	成人宿泊棟		
	点検状況	さび	異物	沈査	亀裂	ボールタップ	マンホール蓋	満減水装置
		① 無	有 ② 無	① 無	有 ② 無	良 否	④ 否	⑤ 否
	特記事項							
高架水槽	容量	槽数		構造	場所	備考		
	10 m <sup>3</sup>	1		SUS製	屋上	青少年宿泊棟		
	点検状況	さび	異物	沈査	亀裂	ボールタップ	マンホール蓋	満減水装置
		① 無	有 ② 無	① 無	有 ② 無	良 否	④ 否	⑤ 否
	特記事項							

揚水ポンプ（本部棟）	点検状況 良			
揚水ポンプ（成人宿泊棟）	点検状況 良			
圧力ポンプ（青少年宿泊棟）	点検状況 良			
防 錆 剤	使用（薬剤名） 未使用			
槽内消毒	薬 剤 名 次亜塩素酸ナトリウム			
	濃 度 12%溶液×希釈1200倍、最終濃度100mg/l			
	一回目	二回目	三回目	備考
	放置時間 30 分間	30 分間	分間	
塗 装	塗 装 剤			
	場 所			
	時 間			
検 査	色 度	濁 度	味	臭 気
	1 度 未 満	0.5 度 未 満	異 常 な し	異 常 な し
遊離残留塩素量	測 定 器 クロールテスター			
	場 所 名	本 部 棟 末端給水栓	成人宿泊棟 末端給水栓	青少年宿泊棟 末端給水栓
	清 掃 前	時 分 0.3m g/l	時 分 0.2m g/l	時 分 0.2m g/l
	清 掃 後	時 分 0.4m g/l	時 分 0.4m g/l	時 分 m g/l



受水槽

本部棟No.1

清掃前



清掃後

嬉野台生涯教育センター  
貯水槽清掃工  
本部 受水槽 NO.1  
2023.2.20  
エース消滅(株)



No.2

清掃前



清掃後



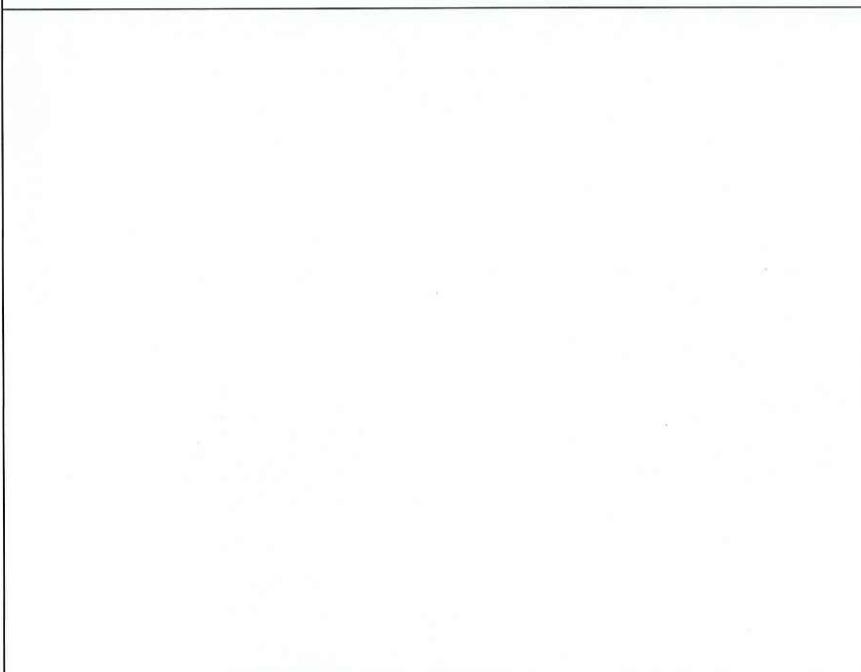
高架水槽

本部棟

清掃前



清掃後





受水槽

成人宿泊棟

清掃前



奥平山徳野台生涯教育センター  
貯水槽清掃工 成人宿泊棟  
受水槽  
2023. 2. 20  
エース消毒剤

清掃後



高架水槽

成人宿泊棟

清掃前



清掃後

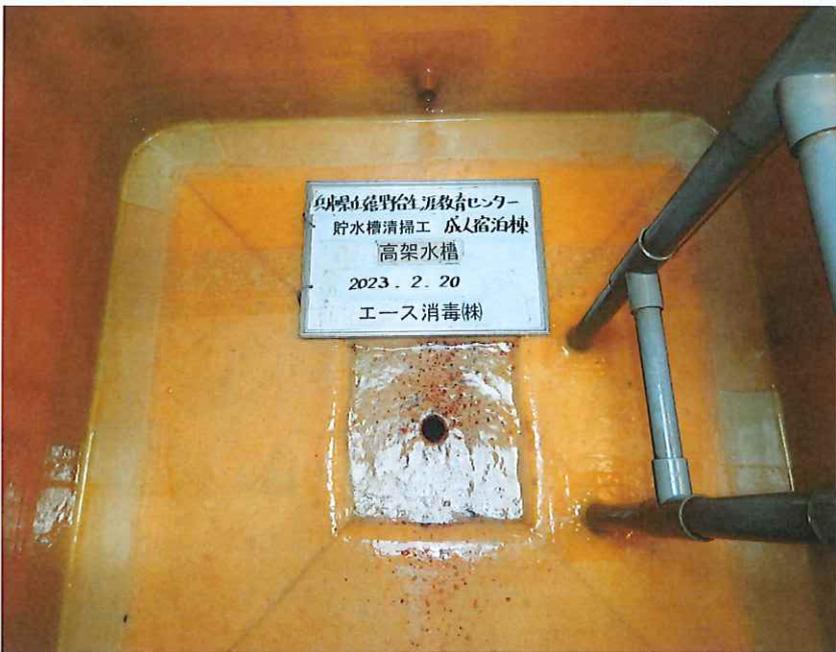
兵庫県立総合生涯教育センター  
貯水槽清掃工 香川宿泊棟  
高架水槽  
2023. 2. 20  
三栄消毒機



高架水槽

青少年宿泊棟

清掃前



清掃後

## 飲料水検査証明書

No. D2302210207

兵庫県立嬉野台生涯教育センター 殿

受付日 2023年2月21日

発行日 2023年2月28日

貴依頼による試料について分析した結果を次の通り証明します。

試料名	飲料水 (2/20採取)		採取区分	持ち込み
採取場所	兵庫県立嬉野台生涯教育センター 本部棟 末端給水栓			
検査項目	単位	分析値	基準値	
一般細菌	CFU/mL	0	100 以下	
大腸菌	—	不検出	検出されないこと	
亜硝酸態窒素	mg/L	0.004未満	0.04 以下	
硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	mg/L	0.2	10 以下	
塩化物イオン	mg/L	11	200 以下	
有機物(全有機炭素(TOC)の量)	mg/L	1.1	3 以下	
pH値	—	7.3(21℃)	5.8 以上 8.6 以下	
味	—	異常なし	異常でないこと	
臭気	—	異常なし	異常でないこと	
色度	度	1未満	5 以下	
濁度	度	1未満	2 以下	
以下余白				
備考	遊離残留塩素 0.4 mg/L			
判定及び所見	上記項目については飲料水水質基準に適合			
分析方法	平成15年厚生労働省告示 第261号			
基準値	水道法に基づく水質基準(平成15年5月30日 厚生労働省令第101号)			

※事業者印及び計量士印なきものは責任を負いません。

## 飲料水検査証明書

No. D2302210208

兵庫県立嬉野台生涯教育センター 殿

受付日 2023年2月21日

発行日 2023年2月28日

貴依頼による試料について分析した結果を次の通り証明します。

試料名	飲料水 (2/20採取)		採取区分	持ち込み
採取場所	兵庫県立嬉野台生涯教育センター 成人宿泊棟 末端給水栓			
検査項目	単位	分析値	基準値	
一般細菌	CFU/mL	0	100 以下	
大腸菌	—	不検出	検出されないこと	
亜硝酸態窒素	mg/L	0.004未満	0.04 以下	
硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	mg/L	0.2	10 以下	
塩化物イオン	mg/L	11	200 以下	
有機物(全有機炭素(TOC)の量)	mg/L	1.1	3 以下	
pH値	—	7.2(21℃)	5.8 以上 8.6 以下	
味	—	異常なし	異常でないこと	
臭気	—	異常なし	異常でないこと	
色度	度	1未満	5 以下	
濁度	度	1未満	2 以下	
以下余白				
備考	遊離残留塩素 0.4 mg/L			
判定及び所見	上記項目については飲料水水質基準に適合			
分析方法	平成15年厚生労働省告示 第261号			
基準値	水道法に基づく水質基準(平成15年5月30日 厚生労働省令第101号)			

※事業者印及び計量士印なきものは責任を負いません。

## 飲料水検査証明書

No. D2302210209

兵庫県立嬉野台生涯教育センター 殿

受付日 2023年2月21日

発行日 2023年2月28日

貴依頼による試料について分析した結果を次の通り証明します。

試料名	飲料水 (2/20採取)		採取区分	持ち込み
採取場所	兵庫県立嬉野台生涯教育センター 青少年宿泊棟 末端給水栓			
検査項目	単位	分析値	基準値	
一般細菌	CFU/mL	0	100 以下	
大腸菌	—	不検出	検出されないこと	
亜硝酸態窒素	mg/L	0.004未満	0.04 以下	
硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	mg/L	0.2	10 以下	
塩化物イオン	mg/L	11	200 以下	
有機物(全有機炭素(TOC)の量)	mg/L	1.1	3 以下	
pH値	—	7.3(21℃)	5.8 以上 8.6 以下	
味	—	異常なし	異常でないこと	
臭気	—	異常なし	異常でないこと	
色度	度	1未満	5 以下	
濁度	度	1未満	2 以下	
以下余白				
備考	遊離残留塩素 0.4 mg/L			
判定及び所見	上記項目については飲料水水質基準に適合			
分析方法	平成15年厚生労働省告示 第261号			
基準値	水道法に基づく水質基準(平成15年5月30日 厚生労働省令第101号)			

※事業者印及び計量士印なきものは責任を負いません。